

JR宇都宮駅東口地区整備の推進

【地域政策室】

1 事業の目的

広域交通の拠点であるＪＲ宇都宮駅東口地区を有効活用し、公共と民間が一体となって、２１世紀における本市のまちづくりをリードする新たな都市拠点の形成及び、県・市の玄関口にふさわしいシンボル性のある都市環境の整備を図る。

2 事業概要

- (１) 整備区域 : 約 7.3ha
- (２) 基盤施設整備：宇都宮駅東口土地区画整理事業（市施行）、社会資本整備総合交付金事業（宇都宮駅周辺地区）の実施
- (３) 立地施設整備：官と民との役割分担のもとに、民間活力を最大限に生かした官民協働による施設整備の実施
- (４) 「宇都宮駅東口地区整備基本計画」（平成１７年６月策定）の概要

整備テーマ	「２１世紀のまちづくりをリードする産業・情報・交流の新たなゲートシティ」	
整備 コンセプト	・シティセールスの新たな舞台づくり ・人と環境に優しいまちづくり ・持続的に発展するまちづくり ・新しいライフスタイルのステージづくり	
立地施設の 構成	民間施設	・業務機能，商業機能，宿泊機能 等
	公共公益施設	・広域交流機能 ⇒市民や来街者の交流促進，賑わい創出，まちの活性化 ・産業振興機能，高度情報発信機能 ⇒地場産業の理解促進とＰＲ，広域からの集客促進

3 事業スケジュール

- 平成２０年度 ・駅前広場の供用開始，土地区画整理事業の換地処分
- 平成２１年度 ・立地施設整備に向けた検討組織の設置，事業用地の民間暫定活用
- 平成２２年度～ ・立地施設整備の推進